



2014年10月22日

犬山市 議会
議長 堀江正栄様

愛知県医療介護福祉労働組合連合会

紹介議員

岡村千景
水野政

岡

水野

岡

岡

愛知県看護職員15万人体制などの実現を求める請願書

【請願趣旨】

2025年超高齢化社会がおとずれるもて、愛知県内の医師・看護師・介護職員などの人手不足が深刻です。背景には、勤務医の過重労働や、看護職員の夜勤労働等の変則長時間労働にみられるような現場の過酷な労働実態があります。

愛知県医労連が取り組んだ「看護職員労働実態調査」(2,586人分集約・13年実施)では「仕事を辞めたい」と思っている人は76%にのぼり、辞めたい理由は「人手不足で仕事がきつい」が47%とトップです。「医療ミス・ニアミスの経験がある」86.6%にのぼり、医療の安全が脅かされています。

愛知県の平成23年の看護職員数は需給数と供給数に対し、人口10万人対比で全国42位と少ない実態にあることから、愛知県議会は2014年7月、看護職員の確保対策の充実を求めて衆参議長に意見書を提出しています。

厚生労働省が平成22年に策定した「看護職員第7次需給見通し」では、平成27年における愛知県の看護職員数の需要数は74,657人としていますが、安全・安心の医療体制のためには「日勤は患者4人に看護師1人、夜勤は患者10人に看護師1人」以上の体制と、夜勤・交代制労働の改善や休暇・諸権利取得が保障される労働条件が必要です。愛知県においては、現状の2倍にあたる15万人以上の看護職員を確保し、愛知県民がいつでも・どこでも・誰でも、安全・安心の医療・介護が受けられる体制が求められています。

以上の趣旨から、下記事項につき、地方自治法99条にもとづく愛知県に対する意見書を決議していただけるよう請願いたします。

【請願事項】

1. 医療の高度化・超高齢化社会を支えるため愛知県の看護職員数を15万人以上にふやして安全・安心の医療と介護が受けられるようにすること。
2. 「第8次看護職員需給見通し」策定にあたり、夜勤軽減、長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、勤務環境の改善を盛り込んだ抜本的な計画を策定すること。
3. 愛知県内の医師数を大幅に増員すること。
4. 愛知県内の介護職員を大幅に増員すること。



以上